

支部だより



徳島中央支部定期総会・研修会

徳島中央支部 支部長 宮浦 武夫(㈲パーニーズハウジング)

令和になって初めての徳島中央支部定期総会と研修会が、令和元年6月25日(火)午後5時より、ホテルグランドパレス徳島において開催されました。

総会は、お忙しい中ご出席いただいた、清水会長のご挨拶に続き、議事に入りました。第1号議案 平成30年度事業報告承認の件、第2号議案 令和元年度事業計画(案)承認の件が原案のとおり可決承認されました。

総会後の研修会は、「相続税の改正」というテー

マで、講師に協会顧問の田中浩三弁護士をお迎えし、約40年ぶりに大改正された相続法(民法)の中から、配偶者居住権の創設、自筆遺言証書の方式緩和、遺留分制度の見直しなど、我々宅建業者が知っておきたいことを中心に分り易く説明していただきました。

この相続法については、既に本年1月より段階的に施行されていることもあり、皆さんメモを取りながら熱心に受講されていました。

県央支部定期総会

県央支部 広報副委員長 大谷 鉄臓(㈲大谷製材所)

令和元年6月20日(木)午後5時より阿波市土成町のはあとプラザ住友において、県央支部定期総会を開催しました。

中村史治副支部長の開会の言葉に続いて、松本武夫支部長の挨拶があり、吉本健二氏が議長に指名され議事が始まりました。

松本支部長が、第1号議案 平成30年度協会関係、県央支部関係の事業報告、続いて第2号議案 令和元年度事業計画書(案)を説明し、全て可決承認されました。

その後、会館耐震・建設検討特別委員の大内弘氏が特別委員会での検討の進捗状況を説明され、アンケート結果については松本支部長が報告しました。

今回の総会でも多数の会員が出席され、活発な意見交換もあり、盛大な総会となりました。

